

2015年国際審判試験に参加して

2015年2月25日～3月5日アラブ首長国連邦国アブダビ市で開催された国際審判試験に参加いたしました。以下報告いたします。

日本人受験者：

佐藤 公良 笹田 健一 小林 善洋

参加国：

UAE (ホスト国)・ヨルダン・クウェート・カタール・イラク・イラン・レバノン・バーレーン・日本・ウズベキスタン・スリランカ・インド・タイ・中国・韓国・台湾・マレーシア・シンガポール・香港・オーストラリア

※ 基本、一種目各国から一人のみエントリー

日程：

1日目 フルーレ

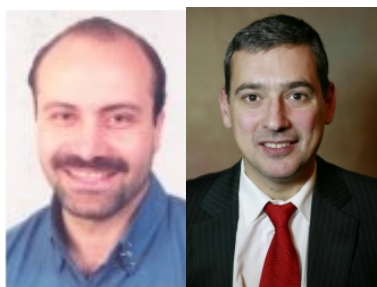
2日目 エペ

3日目 サブル ※ 午前セミナー、午後に理論試験

4日目 アジアジュニア・カデ選手権の審判会議に参加、

5日目～7日目 試験種目終了までアジアカデ選手権で実地試験

FIE 試験官：



エジプトの EL MOTAWAKEL MOHAMED (左 以降→モハメド氏)

ロシアの MAMEDOV ILGAR (右 以降→マメドフ氏)

セミナーの形式：

ホテルの会議室にて、2～3時間の講義と質疑応答が行われる。

説明の方法は種目・場面によって異なり、実際に剣を持ってフレーズの解説することや、プロジェクターで例となる試合映像を映すこともある。口頭説明だけで終わるフレーズ・ルールもある。共通して口頭・実演・映像の説明の後、テーマごとに質疑応答を行う。

《以下種目ごと 主な内容》

フルーレ…試験の初日ということもあり、はじめに挨拶がありセミナーと試験の説明。

そして出欠確認の後、ルールの解説へ。3種目共通点と相違点について剣を用いて説明→分析の困難なフレーズダルムを実際の試合映像を用いて説明

→サブブルとフルーレの優先権について剣を用いて説明

- エペ …大きなトラブルの事例をもとにエペでの注意点を口頭説明→無気力試合についてディスカッション→ビデオにてブラックカード付与に相当するプレーを見てディスカッション
- サーブル…アクション・リアクションの把握について剣を用いて説明→約20例の映像を受講生がジャッジ→国際審判のミスジャッジ例を見てディスカッション

試験の形式：

昼の休憩の後試験は1名ずつ15分ごとの枠で実施される。

① 約10～15問、ビデオを見てジャッジ。(担当 マメドフ氏)

② 約5問の質問に答える。(担当 モハメド氏)

結果発表は、三日目に試験会場に掲示されます。可否は名前の横に「P」「B」「No」と記載があり「P」はPライセンス取得となり、5日目～7日目試験種目終了までアジアカデ選手権にて実技試験。熟練の国際審判員の監視のもとジャッジをします。そこで担当になった審判員がBライセンスの試験官となります。「B」はBライセンス取得となり実技試験は免除されます。「No」は不合格となります。

プール戦・トーナメント・団体戦をジャッジします。すべての日程が終了し、後日合格が協会宛に通知されます。

5日目～7日目にはPライセンス取得済の審判員がBライセンス取得の為に10名ほど合流します。

◇セミナーの詳細

セミナーの内容：

演者としてマメドフ氏が講義を行いモハメド氏が座長として補足する形式。種目によっては役割が入れ替わる。(主としてF→マメドフ氏、E→モハメド氏、S→マメドフ氏)

両者とも流暢な英語を用いて講義を進行する。

《以下種目ごと主な内容》

フルーレ…試験の初日ということもあり、はじめに挨拶がありセミナーと試験の説明。

そして出欠確認の後、ルール of 解説へ。3種目共通点と相違点について剣を用いて説明→分析の困難なフレーズダルムを実際の試合映像を用いて説明
→サーブルとフルーレの優先権について剣を用いて説明

エペ …大きなトラブルの事例をもとにエペでの注意点を口頭説明→無気力試合についてディスカッション→ビデオにてブラックカード付与に相当するプレーを見てディスカッション

サーブル…アクション・リアクションの把握について剣を用いて説明→約20例の映像を受講生がジャッジ→国際審判のミスジャッジ例を見てディスカッション

ルールごと、フレーズごとに質疑応答の時間を設け試験官と受験生でディスカッションされます。質疑応答とディスカッションで積極的にコミュニケーションをとることが必要不可欠です。セミナーの最後に試験時間の割り当てをし、次の日のスケジュールを伝えられ終了。

※セミナーには受験種目以外でも聴講は可能です。日程的に問題がなければ聴講するべきである。(スケジュールなどの変更を把握するため)

必要なもの：

- ◎審判員としての服装
- ◎ペナルティーカード
- ◎英語版ルールブックと罰則一覧（講義は英語のルールブックを用いる）
- ◎日本語版ルールブックと罰則一覧（理解を深めるため）
- ◎試験エントリー完了の FIE からのメール→リスト漏れのトラブル防止のため。
 - ※インドの審判員が FIE 事務局の手違いによりエントリーされていなかったが、FIE からのエントリー完了メールを提示し、それが受験資格となり受験した。

◇試験の詳細

試験の詳細として、私らが受けた試験内容と他国の受験者の情報をお知らせいたします。

1. ビデオ映像をジャッジ

試験官から「リアルなスピード（100%）で判定が可能であれば、決定してください。難しければ、スロー再生（30%）をリクエストしてください。スロー再生後判定してください。」と説明を受けます。その後、約15フレーズをジャッジします。

自身の「プレ アレ」の発声でビデオが再生されます。

各フレーズをジャッジしますがポイントだけではなく、ペナルティーとカード付与も求められます。次々にビデオが切り替えられることや、上手く「プレ アレ」を発生できないこともあります。スムーズにジャッジすることと、速やかにリプレイまたはスロー再生をリクエストすることが求められます。

フレーズによっては解説と解答を受けます。試験官は基本的には次々に映像を出すだけですが、時にはミスジャッジに対して強い口調で指摘をします。

《以下種目ごとビデオジャッジの主な内容》

フルーレ…シュムルターネ・シュチュエーションでの微妙な優先権の判定

エペ …トウツシュかパドトウツシュか。ペナルティー時のカードとその理由。

サーブル…コンティニューか否か。プレパレーションか否か。ルプリーズか否か。

2. 3～6問の質問

主にペナルティーについての質問で問題に対してのペナルティー（何色のカードを付与するか）を与えるかを答える。

以下、私らが受けた質問と他国の受験者のヒアリングをまとめました。

- 1 プール戦での無気力試合について
- 2 団体戦での無気力試合について
- 3 プール戦で4対4タイムオーバー。プレオリティー側が勝利した際スコア表の記載
- 4 エンドラインを前足で踏んでいる選手（押し込まれている）がフレッシュしピストの横に出た場合
- 5 サーブルにおいてガードで行ったトウツシュをした場合
- 6 審判器の記録はシングルランプ。フレーズに優先権のない選手側のトウツシュが剣のトラブルで記録されなかった場合
- 7 武器が壊れて予備がない場合の罰則は
- 8 最低限選手が準備しなければならない予備の武器は
- 9-1 団体戦でゾーンに入れる人数とその内訳

- 9-2 ゾーンからトレーナーが飛び出してピストに近づいた。罰則は
- 9-3 ゾーンからトレーナーが飛び出してピストに上がって試合進行を妨げた。罰則は
- 10-1 「アンガルド」のコールに応じない。10-2 応じないどころかそむく態度をする。
- 11 ノン=コンバッティビティ判断の要素は
- 12 エペ・フルーレにおいて団体戦ラウンド9で4 1対4 1、ノン=コンバッティビティでの対応
- 13-1 エペにおいて団体戦ラウンド9で4 1対4 1、ノン=コンバッティビティでクードゥブルが二回の後、タイムアップ。スコアシート記入のスコアは
- 13-2 エペにおいて団体戦ラウンド9で4 1対4 1、タイムアップ後延長でクードゥブルが二回。さらにその後タイムアップで試合終了。スコアシート記入のスコアは
- 14 フルーレでのブレードの曲がり
- 15 サブルでのブレードの曲がり
- 16 サブルの剣の全長は。またブレード部分の長さは
- 17 エペでのブレードの曲がり
- 18 フルーレの有効面について説明せよ
- 19 サブルの有効面について説明せよ
- 20 エペにおいて、トゥッシュが記録されなかった選手が、すぐに主審に検査を依頼した。検査の方法と手順は
- 21-1 名前・国名が欠如しているメタルジャケット（フルーレ・サブ）・ユニフォーム（エペ）を着用している選手が受ける罰則を述べよ。
- 21-2 ナショナルティールゴが欠如しているユニフォームを着用している選手が受ける罰則を述べよ。
- 22 FIE オフィシャルのサテライト大会において名前・国名の欠如は罰則にならないか
- 23 世界選手権チーム戦において同国選手が異なったメーカーのユニフォームを着ていた。罰則は
- 24 世界選手権でのチーム戦において同国選手が異なったメーカーのソックスを履いていた。罰則は
- 25 サブルにおいてプール戦で選手が3対3のまま戦わない。罰則は
- 26 サブルにおいて選手がオペロンを掴みながら試合をしている。罰則は
- 27 サブルにおいて選手が時々マスクを触りながら試合をしている。罰則は
- 28 ピストで剣を引きずる行為の罰則は
- 29 試合中に観客が応援で叫んだ。罰則は
- 30 選手が試合中に怪我をした時の対応の手順は
- 31 選手が試合中に怪我をしたことを装い休憩を試みた。罰則は
- 32 エンドラインを越えたときみなされ相手にトゥッシュが与えられる要素を答えよ。
- 33 第3グループでのブラックカードについて、付与された選手のその後の罰則
- 34 第4グループでのブラックカードについて、付与された選手のその後の罰則
- 35 プール戦で10分前のコールに選手がピストに現れない。罰則は
- 36 エリミネーション・ディレクトで選手がピストに現れない。罰則は
- 37 フェンシング用具メーカーを3つ答えよ
- 38 左右別メーカーの靴を履いていた。罰則は
- 39 団体戦で4 5対0はありえるか
- 40 ボスクラーのハンドシグナル

その他、重要な報告として試験官は試験中に「強い精神力」を試してきます。
主な言動として“Why!?”を連呼“Hi, My Friends, do not mistake!!”

“Do you know me fencing?” “Everything's wrong. And go home!”など罵倒されます。
行動でも、ルールブックを投げたり机を叩いたりします。
質問に的確に答えられることが、「強い精神力」を創造し動揺を防ぐ第一といえます。
十分な英語力も武器になります。

日本から多くの優秀な国際審判員の誕生を願ひ、簡単な報告とさせていただきます。

報告者：小林 善洋